

埼玉県議会議員



岡地まさる 県政報告

信頼と責任

2017年 春号

岡地まさる県政事務所
桶川事務所
桶川市上日出谷42-73
TEL.048(780)2982
FAX.048(780)2983

発行 埼玉県議会自由民主党議員団

平成29年度
当初予算(一般会計)
1兆8,644億2,700万円

もっと住みよい
埼玉に!

未来への投資拡充・自民要望で前進

県議会2月定例会(2月20日開会)は、1兆8,644億2,700万円に上る平成29年度当初予算(一般会計)をはじめ、我々自民党県議団が提案した「埼玉県農林水産業振興条例」、「防災航空隊の緊急運行業務の条例改正」などを議決し、3月27日(月)に閉会しました。

少子高齢化が急激に進む中、出産や子育て支援策の充実は本県の未来を左右する重要な課題です。29年度予算では出生率の向上を目指す取り組みを新たにスタートさせるほか、様々な施策が進められます。また、自民党県議団で要望していた私立高校に通う生徒への支援制度として、授業料が実質無償化となる世帯の年収を、約500万円未満から約609万円未満への引き上げが実現しました。

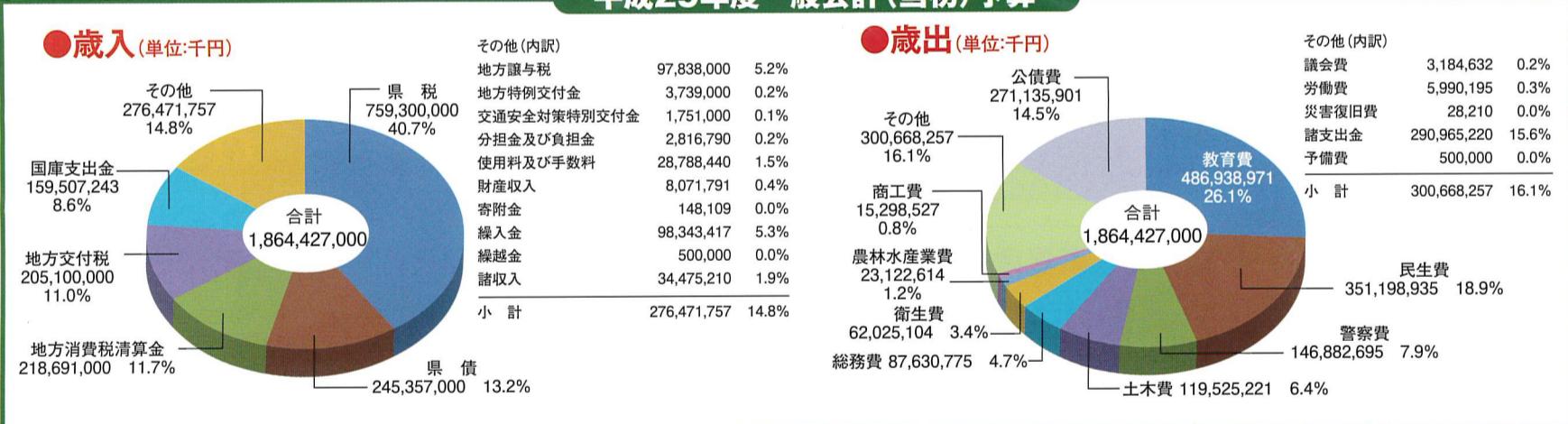
その他、県内でも痛ましい事故があった駅のホームドアについて、一日でも早い設置を進めるための支援制度が実現(約1億7,600万円計上)。高齢者の交通安全を進めるため、交差点の安全対策や信号機の新設・更新、高齢者の免許更新時に受ける高齢者講習の充実・

強化などに向け、約39億1,900万円の予算が計上されています。

さらに最先端産業の推進に向け、実用化・製品化に向けた研究開発への支援を充実させるために約18億8,300万円を予算化。2020東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けた埼玉スタジアムの整備、選手の育成・強化、2019ラグビーワールドカップの開催に向けた熊谷ラグビー場の改修など、未来につながる政策重視の予算配分となっています。

一方、自民党県議団として「北部地域振興交流拠点機能調査事業費」の執行停止をはじめ7件について、それぞれ懸念があるとして「事業の執行に適切な対応を求める附帯決議」を予算特別委員会で提案し可決させています。自民党県議団は、この平成29年度予算の確実かつより効果的な執行を見届けてまいります。そして、もっと住みよい埼玉の実現に向け、全力で県政に取り組んでまいります。

平成29年度一般会計(当初)予算



桶川市内の主な事業 (平成29年度当初予算)

路線名など	事業名等	事業概要	内容
①駅東口通り線	街路整備	《L=130m, W=6(20)m》	委託、用地、補償
②蓮田鴻巣線	舗装道整備	切削オーバーレイ 《L=400m, W=6m》	工事
③川越栗橋線	舗装道整備	切削オーバーレイ 《L=400m, W=6m》	工事
④蓮田鴻巣線	交通安全事業	歩道整備	用地、補償、委託
⑤太郎右衛門橋(川越栗橋線)	橋りょう修繕	床板補強	工事
⑥新滝の宮橋(川越栗橋線)	橋りょう修繕	主桁補修、支承補修	工事
⑦鍋蓋橋(行田蓮田線)	橋りょう維持	落橋防止	工事
⑧江川	河川整備	調節池整備	工事



拉致被害者の方々の一日も早い帰国の実現に向け、皆さまのご支援を!!

活動

県警視開式に出席

埼玉県警察年頭視開式が1月12日、埼玉スタジアム2002東駐車場で開催され、警察危機管理防災委員長として出席しました。

式典では県警察音楽隊の演奏に合わせ、警察官や警察犬部隊による部隊行進や白バイのドリル走行などが行われ、多くの方が楽しんでいました。



埼玉SMART訓練に出席

埼玉県特別機動救援隊(埼玉SMART)の訓練が2月10日、本庄総合公園(本庄市)で開催され、警察危機管理防災委員長として出席しました。

今回は高崎線踏切で乗用車と普通列車が衝突し、列車が脱線、乗用車は大破、さらに停車中の乗用車及びマイクロバスが巻き込まれ、多数の負傷者が発生したことを想定して行われました。埼玉SMARTを構成する消防の機動救助隊、埼玉県防災航空隊及び埼玉DMAT(災害派遣医療チーム)の相互連携強化、地元・近隣消防本部などとの協力による効果的な救出、救護活動の検証が行われました。



市柔道鏡開式に出席

1月8日、桶川市柔道連盟・柔道友好会鏡開式が桶川サンアリーナ柔道場で開催され、地元選出の県議会議員として出席しました。

毎年参加させて頂いていますが、皆さんの柔道への熱意と、武道とともに健やかに育つ子どもたちの成長ぶりがとても印象的でした。



警察危機管理防災委員会視察 災害対策最前線の取り組みを学ぶ

岡地県議が委員長を務める警察危機管理防災委員会は2月6日、大規模災害へのエネルギー事業者の取り組みと、高速道路管理会社の防災対応力などについて視察しました



人材育成・文化・スポーツ振興特別委員会視察 東京五輪に向け準備急ぐ企業を訪問

岡地県議が副委員長を務める人材育成・文化・スポーツ振興特別委員会は1月23日、東京オリンピック・パラリンピックに向けた取り組みと文化振興について、都内2つの企業を視察しました。



日本電気株式会社(港区)

日本電気(株)は2020東京オリンピック・パラリンピックのゴールドパートナーとして、顔認証システムや指紋認証システムなどの開発・整備を進めています。現在、実証実験を進めている「ウォークスルー顔認証システム」は、実用化されれば入場者の流れを止めずにセキュリティチェックを行うことが可能になります。その他、通信環境の整備や多言語バリアフリー対応の取り組みなどを進めていました。



大日本印刷株式会社(品川区)

大日本印刷(株)はルーブル美術館と共に、遠隔地で所蔵品を展示する技術開発を進めています。特に、AR(拡張現実)技術やVR(仮想現実)技術の開発に力を入れており、文化財などの鑑賞方法の未来のあり方について考えさせられる視察でした。

人材育成・文化・スポーツ振興特別委員会副委員長として挨拶をする岡地県議。

地域防災訓練に出席

1月21日、平成28年度桶川市防災訓練が市内小学校を会場に行われ、地元選出県議として出席しました。体育館では避難所設営訓練など、実践的な訓練が行われました。



陸上協会「感謝の集い」に出席

2月4日、(財)埼玉県陸上競技協会主催による「感謝の集い」が開催され、人材育成・文化・スポーツ振興特別委員長及び同協会参与として出席しました。

選手紹介では、初めに「第70回福岡国際マラソン」で日本人1位に輝いた川内優輝選手が紹介され、マラソンへの思いをお話しさされました。



防犯協定締結式に出席

2月16日、「防犯のまちづくりに関する協定」締結式が行われ、警察危機管理防災委員長として出席しました。

この協定は、事業者が犯罪や不審者を発見した場合は警察に通報をお願いするなど、街頭犯罪や侵入盗などの犯罪防止に協力してもらうことを目的としています。

現在の締結事業者は104事業者。平成16年の181,350件から平成28年の69,456件と、県内の刑法犯認知件数は約6割減少しています。



視察

NEXCO岩槻道路管制センター

NEXCO東日本関東支社 岩槻道路管制センターは高速道路の状況を常に把握し、緊急手配をはじめドライバーなどに情報提供している施設です。昨年2月に大規模なリニューアルが行われ、より高度化・防災対応機能が強化されました。大規模災害時ににおいて、救援活動や物資輸送に欠かせない道路網の確保は最重要課題であり、本県の施策推進に十分活かしていくたいと思いました。



東京ガス株式会社

東京ガス(株)の供給司令センターを視察。同センターは首都圏の都市ガスの製造・供給設備の稼働状況を24時間体制で監視・コントロールしています。大地震などが発生したときには、遠隔操作でガスの供給をブロック単位で停止させるシステムを備え、二次災害を発生させない最後の砦の役割を担っています。その現場を実際に見聞きすることができ、たいへん参考になりました。

コラム

改正道路交通法により交通安全対策が強化され、特に75歳以上の免許制度が大きく変わりました。違反をすると速やかな認知機能検査が必要で、未受講・認知症診断により免許取消、停止もあります。これまで大切な移動手段として仕事や家族サービスに50年以上も利用してきたのだから今更とても手放せません。一方、免許返納者は年々増加傾向にあります。返納により免許証に代わる証明書の交付もありますが、返納者への優遇措置や高齢者の足の確保が急務です。

岡地まさる 県政事務所

〒363-0026 埼玉県桶川市上日出谷42-73
Tel. 048-780-2982 / Fax. 048-780-2983

ポスティング作業など、お手伝いいただける方を募集しています。詳しくは岡地まさる県政事務所へお問い合わせください。